

令和4年度 第3回壱岐市洋上風力発電等導入検討協議会 議事要旨

- 日時：令和5年3月27日(月) 13:30～15:00
- 会場：壱岐の島ホール（壱岐文化ホール） 1F 中ホール

—議事—

(1) 各主体との協議・調整結果について

【河邊会長】

事務局からの説明について質問等はないか。
(応答なし)

(2) 本事業の成果及び今後の方針について

【河邊会長】

事務局からの説明について質問等はないか。

【浦田構成員】

壱岐市周辺海域での洋上風力発電導入について、県北海区の漁業者から反対意見が寄せられているとのこと。仮に、本協議会で承認が得られ、県へ情報提供することになった場合、県はどの様に県北海区の漁業者と調整を進めていくのか。

【事務局（壱岐市）】

本協議会で承認が得られ、県へ本事業の成果が情報提供された場合は、県により情報が精査され、国への情報提供が検討される。県北海区の漁業者との調整に関してもその中で検討されると予想されるが、現時点では具体的な対応は明らかになっていない。壱岐市としては、情報提供後も継続的に県と情報共有を継続し、検討の進捗を把握していく。

【浦田構成員】

自身は、漁協の代表者として組合に所属する漁業者に対しての説明責任がある。県との情報共有を密にとり、漁業者が納得できるよう十分な説明をお願いしたい。

【事務局（壱岐市）】

壱岐市は、県への情報提供後も当該海域の当事者として、県及び国による検討に関与していく。こうした検討への参画や関係主体との意見交換により、地域にとってよりよい洋上風力発電導入のあり方を模索していきたい。

【河邊会長】

県への情報提供後も、壱岐市と県の間で情報共有は行われ、県の検討状況を逐次把握することができるということか。また、壱岐市の意見を反映する機会はあるということか。

【事務局（壱岐市）】

ご理解の通りである。情報提供後も壱岐市と県の間で相互に情報共有が行われ、国への情報提供に関する検討が進められることになると予想される。

【浦田構成員】

壱岐市のこれまでの取組みには概ね納得しているものの、地先の漁業者として自分たちの生まれ故郷である海を守っていく必要がある。洋上風力発電の導入は壱岐市の発展のためにも必要であると理解しているが、漁業への影響については十分に検証し対応策を協議していきたい。洋上風力発電の導入が壱岐の漁業にとっても有益なものとなることを望む。

【中山構成員】

壱岐市西側の海域は当組合にとって重要な漁場となっているため、組合員からは厳しい意見が聞かれた。一方、風車建設までにはまだまだ時間を要するため、その間に協議・調整を進める方針で、県への情報提供について承認を得ることができた。今後の協議・調整により漁業者が洋上風力発電の導入を納得すれば、漁協としても合意できると考える。十分な説明及び協議・調整を望む。

【事務局（壱岐市）】

今後も対話を重ね、皆様の疑問に答えられるよう取り組んでいきたい。

【安永構成員】

石田町漁協では、当初から名島周辺海域を検討から除外することを求めており、その意見が反映された形で導入可能性エリアが設定されたため、役員からの理解を得ることができた。今後は、所属組合員への説明が必要になると思うが、その際にはご支援をお願いしたい。

【事務局（壱岐市）】

説明会の際にはお声がけいただきたい。こうした協議の積み重ねが重要と考える。

【小楠構成員】

各漁協いずれも様々な懸案事項が残っており、現段階では組合員の理解も十分に進んでいないと思われる。当組合では特に定置網漁業への影響に対して懸念が大きく、組合員の理解を得るためには時間を要すると思われる。今後も協議を継続し、漁業者の意見を聞きながら取り組みを進めていただきたい。

【事務局（壱岐市）】

定置網漁業への影響については、河邊先生を始めとする専門家の意見を参考にしながら、対応策を検討していきたいと考えている。

【河邊会長】

移動しながら実施する漁業と異なり、定置網漁業は回遊してくる魚を待つため、風車建設に伴う魚道の変化などを懸念する気持ちはもっともだと感じる。風車による魚類への影響の程度を明らかにするには、壱岐市周辺海域にて実証事業を実施するのが望ましいと考える。仮に、著しい影響が確認され、風車と漁業の共存が困難であると判断されたならば、その時点で洋上風力発電の導入に関する検討を中止すればよいのではないかと考える。

【大久保構成員】

壱岐市では、これまで約3年間にわたり洋上風力発電の導入可能性を検討してきたが、依然として漁業者の不安は払拭されていないように感じる。河邊会長がおっしゃるように、壱岐市周辺海域で実証事業を実施し、どのような影響が生じるのか実際に確認するのが、効果的であると考えている。

【白川市長】

漁業者の理解を得るためにも、実証事業を実施すべきと考えている。これにより、影響が生じることが確認された場合は、その時点で洋上風力発電の導入を中止すべきと考える。そのためには、まず、県への情報提供が必要となる。

【事務局（壱岐市）】

漁業者の不安を払拭するためにも、市としては対話を継続していきたいと考えている。また、実証機の導入は、洋上風力発電への理解を深めるきっかけになる可能性があると考えている。

【吉田構成員】

漁業者が洋上風力発電導入を不安に思う気持ちはもつともであるとする。一方で、洋上風力発電導入による恩恵についても注目していく必要がある。洋上風力発電を活用した壱岐市の発展について前向きに検討できればと考えている。

【事務局（壱岐市）】

売電収入の一部を基金として積み立て、地域振興や地域課題の解決に活用する方法なども考えられる。関係主体のアイデアを聞きながら、引き続き検討していきたい。

【河邊会長】

県への情報提供について賛否を伺いたい。異論等あるか。
(異論なし)

【河邊会長】

異論なしとのことで、本協議会は県への情報提供を承認することとする。

以 上